

第16次第1回苫小牧市廃棄物減量等推進審議会

日 時 令和7年7月23日（水）16時から

会 場 nepia アイスアリーナ会議室3，4

- 会議次第
- 1 開会
 - 2 委嘱状の交付
 - 3 会長及び副会長の選出
 - 4 苫小牧市廃棄物減量等推進審議会について
 - 5 議題
 - (1) ごみの収集に関するアンケート調査について
 - 6 報告
 - (1) ごみ量とリサイクル率の推移について
 - 7 その他
 - 8 閉会

- 配布資料
- 資料1 苫小牧市廃棄物減量等推進審議会について
- 資料2 ごみの収集に関するアンケート調査票
- 資料3 ごみ量とリサイクル率の推移について

苫小牧市廃棄物減量等推進審議会について

1 審議会の目的

現代の便利で豊かな生活は、大量生産・大量消費・大量廃棄という社会構造に支えられており、ごみ排出量の増加と廃棄物の多様化が進んだ結果、最終処分場の用地確保や適正処理の困難化などの社会問題が顕在化してきました。

また、近年はSDGsや海洋プラスチックごみ問題、カーボンニュートラルなど、世界的な課題への取組が求められています。

本市においては、衛生的かつ安定的な処理を図るため分別収集の徹底と適正処理に努めてきたこと、平成 25 年 7 月に家庭ごみの有料化がスタートしたこと等により、順調にごみの減量とリサイクルの推進が図られてきました。

本審議会は、「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」の更なる高みを目指して、市民の皆さまから幅広い意見を聞くことを目的として、設置しています。

2 審議会の法的位置づけ

- (1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）第 5 条の 7 の規定により、一般廃棄物の減量等に関する事項を審議するための機関として、設置が認められています。
- (2) 「苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」第 27 条の規定により、審議会を設置することを定めています。
- (3) 「苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則」第 13 条から 15 条の規定により、必要な事項を定めています。

3 第 16 次審議会の予定

- (1) 任期は令和 7 年 7 月 1 日から令和 9 年 6 月 30 日までとなります。
- (2) 開催頻度は年 2～4 回を予定しております。

(参考) 根拠法令等

	根 拠 法 令 等
法 律	(廃棄物減量等推進審議会) 第五条の七 市町村は、その区域内における一般廃棄物の減量等に関する事項を審議させるため、廃棄物減量等推進審議会を置くことができる。 2 廃棄物減量等推進審議会の組織及び運営に関して必要な事項は、条例で定める。
苫 小 牧 市 条 例	(廃棄物減量等推進審議会) 第 27 条 法第 5 条の 7 の規定に基づき苫小牧市廃棄物減量等推進審議会(以下「審議会」という。)を置く。 2 審議会は、委員 20 人以内で組織する。 3 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。 (1)学識経験者 (2)民間諸団体の代表者 (3)前 2 号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者 4 委員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。 5 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。 6 前各項に定めるもののほか、審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。
苫 小 牧 市 規 則	(廃棄物減量等推進審議会) 第 13 条 苫小牧市廃棄物減量等推進審議会(以下「審議会」という。)に会長及び副会長各 1 人を置き、委員の互選により選出する。 2 会長は、審議会を代表し、会務を総理し、会議の議長となる。 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。 第 14 条 審議会の会議は、会長が招集する。 2 審議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。 3 審議会の議事は、出席委員の過半数をもって決するものとし、可否同数のときは、議長の決するところによる。 第 15 条 前 2 条に規定するもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が定める。

(参考) 苫小牧市廃棄物減量等推進審議会の開催経過

第1次(H7.9.1～H9.3.31)	
第1回審議会 平成7年9月1日	委嘱状交付、会長・副会長選出、清掃事業の概要
第2回審議会 平成8年2月14日	ごみ減量、資源化についての提言（各委員より発言）
第3回審議会 平成8年5月16日	ごみ減量に関する項目別討議
第4回審議会 平成8年7月17日	視察：千歳市環境センター、ごみ減量に対する提言のまとめ 提言書起草委員の選出
第1回提言書起草委員会 平成8年9月27日	提言書のとりまとめ
第2回提言書起草委員会 平成8年11月26日	提言書のとりまとめ
第5回審議会 平成9年2月14日	提言書の決定・承認、市長への提出
第2次(H9.4.1～H11.3.31)	
第1回審議会 平成9年4月10日	委嘱状交付、会長・副会長選出、清掃事業の概要
第2回審議会 平成9年10月6日 平成9年10月14日	第1次審議会の経過説明、減量に対する意見交換 札幌駒岡清掃事務所視察
第3回審議会 平成10年8月10日	苫小牧市ばい捨てによる空き缶等の散乱の防止に関する条例の概要、意見交換
第4回審議会 平成11年1月21日	沼ノ端クリーンセンターの視察研修
第3次(H11.4.1～H13.3.31)	
第1回審議会 平成11年4月14日	委嘱状交付、会長・副会長選出、清掃事業の概要
第2回審議会 平成11年7月21日	第2期分別収集計画について、第2次提言書作りについて意見交換
第3回審議会 平成11年12月21日	提言発表
第4回審議会 平成12年4月26日	提言書起草委員の選出 市内リサイクル施設視察
第1回提言書起草委員会 平成12年5月19日	提言のまとめ方検討、今後の日程検討
第2回提言書起草委員会 平成12年7月7日	起草委員会各自草稿提出、検討
第3回提言書起草委員会 平成12年8月25日	提言書原案素案の検討

第5回審議会 平成12年9月8日	提言書原案の検討
第4回提言書起草委員会 平成12年10月4日	修正意見、補足意見の検討
第6回審議会 平成12年10月24日	提言書の承認、決定 「ごみの減量・リサイクル」に関する提言
第4次(H13.4.1～H15.3.31)	
第1回審議会 平成13年4月13日	委嘱状交付、会長・副会長選出、清掃事業の概要
第2回審議会 平成13年8月28日	一般廃棄物処理基本計画の骨子の説明、意見交換
第3回審議会 平成14年1月29日	一般廃棄物処理基本計画の策定、経過報告
第4回審議会 平成14年6月5日	一般廃棄物処理基本計画の策定
第5回審議会 平成14年8月27日	北海道エコリサイクルシステムズ見学
第6回審議会 平成15年2月17日	清掃事業の現況及びリサイクル事業
第5次(H15.4.1～H17.3.31)	
第1回審議会 平成15年8月8日	会長・副会長選出、清掃事業の概要
第2回審議会 平成16年7月26日	清掃事業の現況及びリサイクル事業
第6次(H17.4.1～H19.3.31)	
第1回審議会 平成17年4月28日	委嘱状交付、会長・副会長選出、清掃事業の概要
第2回審議会 平成18年2月6日	諮問「家庭ごみの減量化施策と具体的方策について」、苫小牧市ごみの現状と課題、苫小牧市一般廃棄物処理基本計画の概要、ごみの減量、リサイクルに関する提言
第3回審議会 平成18年2月22日	先進地視察研修(札幌市中沼プラスチック選別センター及び札幌プラスチックリサイクル㈱の見学と意見交換、小樽市環境部との意見交換)
第4回審議会 平成18年3月30日	先進地視察研修(新日本製鐵㈱室蘭製鐵所のプラスチックリサイクル施設の見学と意見交換、伊達市経済環境部との意見交換)
第5回審議会 平成18年5月17日	先進地視察研修結果、道内主要都市のごみ処理の状況、道内主要都市のごみ減量施策の状況、道外人口類似都市のごみ処理状況
第6回審議会 平成18年6月15日	分別品目の細分化
第7回審議会 平成18年8月30日	事業系ごみの分別の方策
第8回審議会 平成18年10月17日	清掃行政について(市長との懇談)

第9回審議会 平成18年11月28日	平成12年10月の「ごみの減量・リサイクルに関する提言」の検証
第1回起草委員会 平成19年1月17日	答申内容の検討と今後の取りまとめ方
第2回起草委員会 平成19年2月13日	答申書案の検討
第10回審議会 平成19年3月23日	答申書案の最終検討 「家庭ごみの減量化施策とその具体的方策について」
第7次（H19.4.1～H21.3.31）	
第1回審議会 平成19年4月25日	委嘱状交付、会長・副会長選出、苫小牧市のごみとリサイクルの現状（減量審の概要、ごみ処理の現状、リサイクルの現状、ゼロごみ大作戦）
第2回審議会 平成20年1月25日	副会長選出、苫小牧市廃プラスチック類資源化実施計画の骨子説明、意見交換
第3回審議会 平成20年3月19日	市内リサイクル処理施設視察（家電リサイクル処理施設、有機性廃棄物堆肥化施設、廃タイヤ中間処理施設）
第4回審議会 平成21年2月9日	ごみ処理の現状について、資源品目拡大について（意見交換）
第5回審議会 平成21年3月24日	市内リサイクル処理施設見学（木材リサイクル施設、ガラスびんリサイクル施設）
第8次（H21.4.1～H23.3.31）	
第1回審議会 平成21年5月11日	委嘱状交付、会長・副会長の選任、減量審議会の概要について、清掃事業概要について
第2回審議会 平成22年1月25日	一般廃棄物と産業廃棄物の分類、一般廃棄物の排出量の推移、苫小牧市一般廃棄物処理基本計画（案）の概要について
第3回審議会 平成22年3月25日	「苫小牧市一般廃棄物処理基本計画」（案）について
第4回審議会 平成22年9月22日	諮問 家庭ごみの有料化について
第5回審議会 平成22年10月21日	家庭ごみの有料化について（道内他市における家庭ごみ有料化の実施状況について、家庭ごみ等の処理施設及び処理費用の現状について、家庭ごみ有料化に伴う併用施策について、住民参加と市民周知について）
第6回審議会 平成22年11月18日	家庭ごみの有料化について（家庭ごみ有料化に伴う各種課題について、紙類の資源化について、事業系ごみの減量について）
第7回審議会 平成22年12月16日	家庭ごみの有料化について（意見集約）
第1回起草委員会 平成22年12月28日	「家庭ごみの有料化について」の答申草案について
第2回起草委員会 平成23年1月18日	「家庭ごみの有料化について」の答申草案について
第8回審議会 平成23年2月14日	家庭ごみの有料化について（答申草案について）
第9回審議会 平成23年3月24日	家庭ごみの有料化について（答申案について）

第9次 (H23. 4. 1～H25. 3. 31)	
第1回審議会 平成23年4月13日	委嘱状交付、会長・副会長の選任、減量審議会の概要について、 清掃事業概要について
第2回審議会 平成23年8月31日	ごみ減量とリサイクル推進に対する基本的な考え方、家庭ごみ有料化実 施計画（案）、紙類資源化実施計画（案）
第3回審議会 平成24年7月17日	053 大作戦～ステージ3～の取組状況、事業系ごみ処理手数料について
第4回審議会 平成24年8月22日	事業系ごみ処理手数料の改定、資源物分別イメージDVDの上映につい て
第5回審議会 平成25年3月26日	市民周知の状況について 市内再資源化企業視察（家電リサイクル処理施設、プラスチック中間処 理施設）
第10次 (H25. 4. 1～H27. 3. 31)	
第1回審議会 平成25年4月9日	委嘱状交付、会長・副会長の選任、減量審議会の概要について、 一般廃棄物処理基本計画について、家庭ごみの有料化について、 清掃事業概要について、053 大作戦～ステージ3～の取組について
第2回審議会 平成25年11月1日	053 大作戦～ステージ3～総括、家庭ごみ量の推移・組成分析について 不法投棄・不適正排出の状況について
第3回審議会 平成26年5月21日	札幌市・石狩市再資源化企業等視察（環境情報発信施設、資源物搬入 施設、家電リサイクル処理施設）
第4回審議会 平成26年11月7日	家庭ごみ有料化後1年の状況について、沼ノ端クリーンセンターの 長寿命化について
第5回審議会 平成27年3月19日	053 大作戦～ステージ4～の概要について
第11次 (H27. 4. 1～H29. 3. 31)	
第1回審議会 平成27年4月16日	委嘱状交付、会長・副会長の選任、減量審議会の概要について、 一般廃棄物処理基本計画について、ごみ処理の現状について、 053 大作戦～ステージ4～について
第2回審議会 平成27年11月11日	「苫小牧市ばい捨てによる空き缶等の散乱の防止に関する条例」の一部 改正について、053 大作戦～ステージ4～の取り組み状況、ごみ量とリ サイクル率の推移について 不法投棄・不適正排出の状況について
第3回審議会 平成28年1月13日	一般廃棄物処理基本計画の改定について、収集体制の見直しについて
第4回審議会 平成28年6月3日	053（ゼロごみ）大作戦～ステージ4～全37事業 総括について 苫小牧市のごみ処理の現状について 収集体制の効率化と戸別収集の試行開始について 平成28年度の実施事業について
第5回審議会 平成28年11月8日	資源物中間処理業務委託について 沼ノ端第2埋立処分場について
第6回審議会 平成29年3月23日	苫小牧市のごみ処理の現状について 戸別収集モデル区域のアンケート結果について

第12次 (H29. 4. 1～31. 3. 31)	
第1回審議会 平成29年5月10日	委嘱状交付、会長・副会長の選任、減量審議会の概要について 一般廃棄物処理基本計画について 苫小牧市一般廃棄物の推移について
第2回審議会 平成29年11月7日	糸井清掃センターの休廃炉について 視察研修（糸井清掃センター、沼ノ端クリーンセンター）
第3回審議会 平成30年3月27日	苫小牧市一般廃棄物の推移について 有害ごみの回収方法の変更について 資源物（缶・びん）の回収方法の変更について 食品ロス削減に向けた取組みについて
第4回審議会 平成30年7月1日	苫小牧市一般廃棄物の推移について 不法投棄・不適正排出の状況について 紙おむつ無料回収について
第5回審議会 平成31年3月26日	苫小牧市一般廃棄物の推移について 平成30年10月排出ルール変更後の状況について 戸別収集試行の検証結果について 糸井清掃センターの廃炉について
第13次 (H31. 4. 1～R3. 3. 31)	
第1回審議会 令和元年5月31日	委嘱状交付、会長・副会長の選任、減量審議会の概要について 一般廃棄物処理基本計画について 苫小牧市一般廃棄物の推移について
第2回審議会 令和元年10月21日	安平町における災害廃棄物の処理について視察
第3回審議会（書面） 令和2年3月27日	苫小牧市一般廃棄物の推移について 053 大作戦ステージ5について
第4回審議会（書面） 令和2年12月22日	苫小牧廃棄物処理基本計画の改定について 苫小牧市一般廃棄物の推移について
第5回審議会（書面） 令和3年3月25日	苫小牧廃棄物処理基本計画の改定について
第14次 (R3. 7. 1～R5. 6. 30)	
第1回審議会 令和3年7月16日	委嘱状交付、会長・副会長の選任、減量審議会の概要について 一般廃棄物処理基本計画【改訂版】について ごみ量とリサイクル率の推移について
第2回審議会（書面） 令和4年3月25日	災害廃棄物処理計画の策定について ボランティア清掃用ごみ袋の容量及び種類について
第3回審議会 令和4年7月28日	ごみ量とリサイクル率の推移について 市内のごみステーションの設置状況 ボランティア清掃用ごみ袋の容量及び種類
第4回審議会 令和5年3月24日	災害廃棄物処理計画 ゼロカーボン×ゼロごみ大作戦 JFE リサイクルプラザの機能拡充について

第15次 (R5. 7. 1～R7. 6. 30)	
第1回審議会 令和5年7月4日	委嘱状交付、会長・副会長の選任、減量審議会の概要について 諮問「苫小牧市リサイクルプラザ苫小牧条例の廃止について (仮称) 新リサイクルプラザ苫小牧条例の制定について」 令和4年度ごみ量とリサイクル率の推移について
第2回審議会 令和5年8月8日	JFE リサイクルプラザ苫小牧施設見学 沼ノ端クリーンセンターにおける脱炭素の取組について 苫小牧市リサイクルプラザ苫小牧の条例廃止及び新条例の制定について
第3回審議会 令和5年9月13日	苫小牧市リサイクルプラザ苫小牧の条例廃止及び新条例の制定について
第4回審議会 令和5年11月1日	苫小牧市リサイクルプラザ苫小牧の条例廃止及び新条例の制定について
第5回審議会 令和6年4月26日	一般廃棄物処理基本計画について 今年度のゼロカーボン×ゼロごみ大作戦について
第6回審議会 令和6年7月17日	一般廃棄物処理基本計画骨子案について 令和5年度ごみ量とリサイクル率の推移について
第7回審議会 令和6年12月13日	一般廃棄物処理基本計画素案 について
第8回審議会 令和7年3月25日	一般廃棄物処理基本計画について 苫小牧市リサイクルプラザ苫小牧条例について
第9回審議会 令和7年6月5日	苫小牧市リサイクルプラザ苫小牧条例改正案について 令和6年度ごみ量について

苫小牧市

ごみの収集に関するアンケート調査票

苫小牧市では、ごみの戸別収集の全市拡大を目指してきました。しかし、近年、人件費の大幅な上昇や、少子高齢化による人手不足、収集コストの上昇などの影響により、直ちに全市拡大することが難しい状況が続いています。一方で、ステーション収集の継続を望む市民の声もあります。

このアンケートは、このような状況を踏まえ、市民の皆様のご意見を改めて調査し、今後の方針を検討するための資料とさせていただくために行います。

皆様の率直なご意見をお聞かせいただけますと幸いです。



ステーション収集とは？

地域ごとに設けられたごみ集積所（ステーション）に住民が自分でごみを持っていき、そこに出す方式のこと。



戸別収集(こべつしゅうしゅう)とは？

各家の前など、ご家庭ごと（戸別）に決められた場所にごみを出す方式のこと。

ごみを出す場所の例

家屋が道路に面している場合



家屋が道路に面していない場合



家屋が道路から奥まって袋小路になっている場合



該当する項目に○をつけてください。また、空欄部分には記載をお願いします。

問1 あなた自身とご家族についてお聞きします。

年 齢	① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代 ⑧ 80代以上
世 帯 人 数	① 1人 ② 2人 ③ 3人 ④ 4人以上
住 宅 の 形 態	① 一戸建て住宅 ② 事務所等と併用した住宅 ③ 集合住宅 ④ その他（ ）
居 住 年 数	① 5年未満 ② 5年以上～10年未満 ③ 10年以上
居住地区(町名)	町
現在のごみの 収集方法	① ステーション収集 ② 戸別収集 ③ その他 （ ）

問2 あなたが希望するごみ捨ての方法はどれですか。【1つに○】

① ステーション収集→(1)へ ② 戸別収集→(2)へ ③ どちらでもよい

(1) ステーション収集を選んだ理由をお聞かせください【複数選択可】

- ① 日常の管理が楽だから
- ② 収集の効率（＝費用対効果）が良いと思うから
- ③ 自宅敷地内にゴミ箱を設置するのが嫌だから
- ④ 戸別収集は排出者が特定されやすく、プライバシーを侵害される可能性があるから
- ⑤ 地域でのコミュニケーションのきっかけとして有効だから
- ⑥ 共同住宅（マンション等）で、専用の置き場があるから
- ⑦ その他（ ）

(2) 戸別収集を選んだ理由をお聞かせください【複数選択可】

- ① ごみステーションが遠いと、ごみ出しが大変だから
- ② ごみステーションが家の前にあると嫌だから
- ③ ごみステーションが無いほうが道路や街並みが美しくなる可能性があるから
- ④ ごみステーションの管理当番の手間がなくなるから
- ⑤ 既に戸別収集で、変えたくないから
- ⑥ その他（ ）

(次ページに続きます)

問3 ごみ出しをサポートするサービスについて、お聞きします。

(1) 苫小牧市で実施している『戸別収集85』というサービスを知っていますか。
【1つに○】

- ① 知っている（利用している） ② 利用していないが知っている ③ 知らない

戸別収集85とは？

85歳以上の世帯を対象に自宅前からごみを収集するサービス

～対象者～

- ① 申請日時点で全員が85歳以上の世帯の方
- ② 戸建て住宅にお住まいの方
- ③ 介護認定を受けておらず障害者手帳をお持ちでない方



※介護認定を受けている方または障害者手帳をお持ちの方は「ふれあい収集」対象

(2) 『戸別収集85』の対象者について、どのように思いますか。【1つに○】

- ① 現在の設定で妥当だと思う
- ② 対象をもっと広げるべきだと思う
- ③ 対象をもっと絞るべきだと思う
- ④ よくわからない

(3) 対象者について、「広げるべき」「絞るべき」とお答えいただいた方にお聞きします。具体的にどのような変更が望ましいと思いますか。

(4) 超高齢社会を迎え、今後さらにごみ出し困難者が増加すると考えています。そこで、日常のごみ出しを支援する福祉サービスで、他にどのようなサービスがあれば便利だと感じますか。

(次ページに続きます)

問4 苫小牧市のごみを含む環境行政全般に関して、ご意見がありましたら
お書きください。

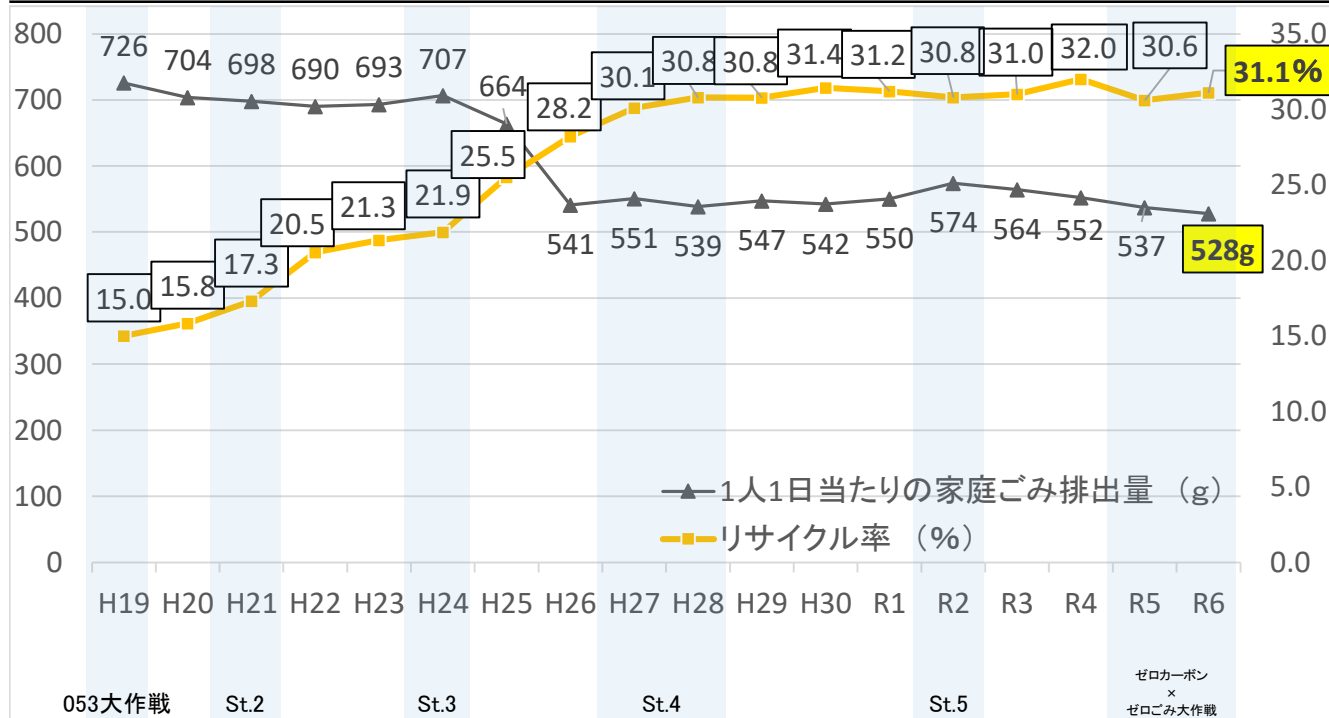
ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきましたら、このアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れ（切手不要）、
令和7年10月31日（金）までに、郵便ポストに投函してください。
（返信用封筒の住所・氏名・電話番号欄へのご記入は不要です。）

■お問い合わせ先
苫小牧市環境衛生部ゼロごみ推進室
ゼロごみ推進課
電話 0144-55-4266

ごみ量とリサイクル率の推移について

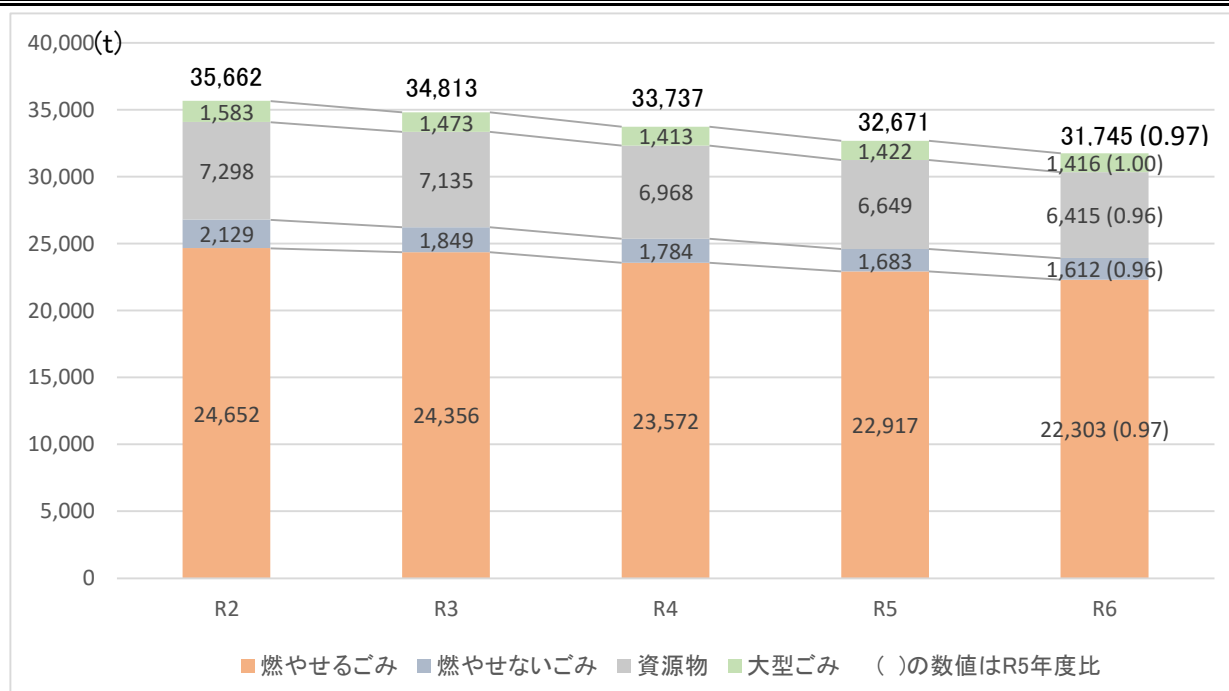
① リサイクル率と1人1日当たりの家庭ごみ排出量



$$\text{※リサイクル率} = \frac{(\text{中間処理後再生利用量} + \text{直接資源化量} + \text{集団回収量})}{(\text{ごみ処理量} + \text{直接資源化量} + \text{集団回収量})} \times 100$$

$$\text{※1人1日当たりの家庭ごみ排出量} = \text{家庭ごみ排出量} \div \text{人口} \div 365\text{日}$$

② 家庭ごみ排出量の推移



苫小牧市における ごみ処理環境の改善 ～新型ごみステーションの開発～

苫小牧工業高等専門学校

創造工学専攻 都市・環境系 1年

中嶋 一心

目次

1. 研究背景・目的
2. 研究内容
3. 結論

研究背景・目的

苫小牧市では、現在ごみステーションに関する様々な問題が提起されている



→ごみステーション改良による苫小牧市のごみ処理環境の改善を目的とする.

目次

1. 研究背景・目的
2. 研究内容
3. 結論

研究内容

企業，地域が抱える問題を実際に調査



ごみ収集作業を体験



損傷状態を確認

研究内容

プロトタイプ概要

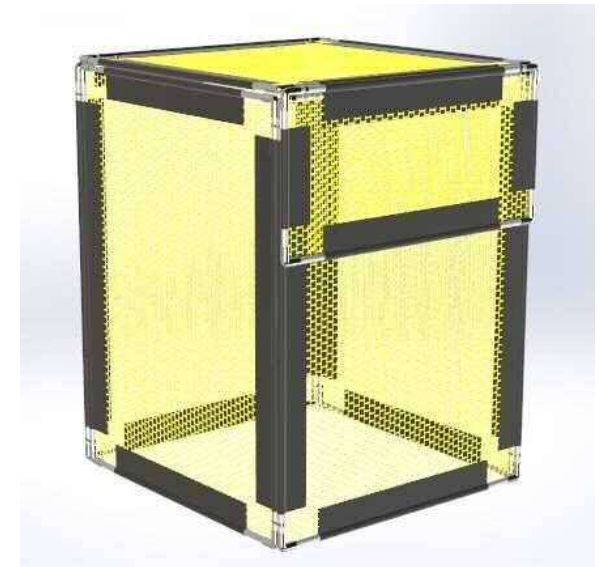
<寸法(cm)>

幅50×奥行き50×高さ65

設置後も交通に支障がないサイズ

<材料>

- ネット: 樹脂ネット
- フレーム: アルミ



研究内容

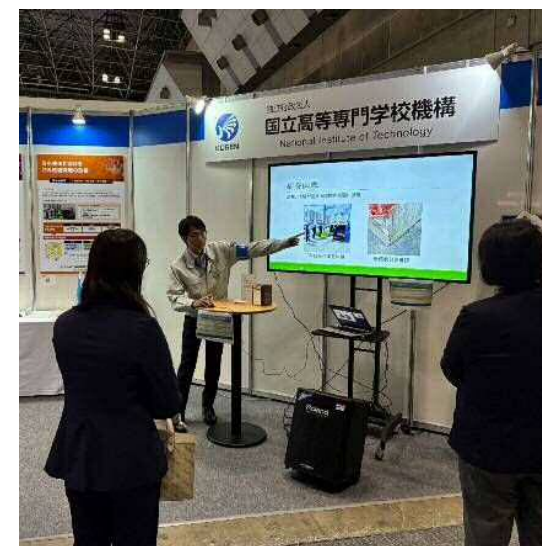
展示会等での展示



ビジネスEXPO@札幌



ゼロカーボン×ゼロごみ大作戦！
ファイナルイベント



NEW環境展@東京

目次

1. 研究背景・目的
2. 研究内容
3. 結論

結論

①コスト面に関する問題

- ・ステーションの素材、形状の変更により削減
- ・製造地を苫小牧市内に変更し輸送費削減

②作業面に関する問題

- ・ステーションの形状、高さなどの調整により改善

③製品に関する問題

- ・ステーションの風通りを良くし、突風対策
- ・折り畳み式かつ大きさを抑えることでに変更することで道路占有対策